

週刊 YU-DS 通信

第1号 2018年6月13日

発行：

山口大学大学教育機構大学教育センター
データサイエンス教育推進室

電話：083-933-5986

メール：data-sci@yamaguchi-u.ac.jp

ご挨拶

このたびは、共通教育科目「データ科学と社会Ⅱ」の外部講師をお引き受けくださり、ありがとうございます。山口大学では今年度にデータサイエンス教育推進室を設置し、この科目の運用にあたっています。

国は Society5.0 という新しい社会の創造への改革を推し進めており、皆様はまさにその実行の中心で活躍されているわけですが、大学の任務はその新しい社会に対応できる人材を送り出すことです。企業におけるデータ活用事業の実際を学生に伝えて頂くことは、リテラシーとしてのデータサイエンスへの理解と、その実行に必要な知識・技術の修得へのモチベーションを誘起させることは間違いありません。

来週から本格的に外部講師の講義が始まります。この YU-DS 通信では、毎週その状況をお伝えし、円滑な講義の実施に役立ててまいります。皆様のご協力をお願い致します。

(データサイエンス教育推進室長 松野浩嗣)



ご挨拶

外部講師の先生方には、常日頃より大変お世話になっております。

さて、今学期の前期前半に開講した共通教育科目「データ科学と社会Ⅰ」では、学生にデータサイエンス教育ビデオを視聴させました。私が担当したクラスは文系のクラスでしたが、学生の関心は高く、「起業に関心があるので講師の先生と話をしてみたい」、「データサイエンスに興味がある」と話しに来る学生がいました。実際に事業を進められている方の話は学生にとって刺激的であるようで、大学で自ら積極的に学ぶための追風になりそうです。皆様とともに、学生の学びを常に後押ししながら、頼もしい人材を育てて行ければと思います。学生・教職員一同、外部講師の先生方の講義を楽しみにお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

(データサイエンス教育推進室 木下真)

TS テクノロジー様の講義

工学部応用化学科では「データ科学と社会Ⅱ」の授業が他の部局より先行して前期前半に行われ、5月17日(木曜日)に TS テクノロジーの山口 徹様に「化学分野におけるデータ利用の実態」というタイトルでご講義いただきました。講義では、TS テクノロジー様の事業についてご紹介頂いた後に、計算機化学、量子化学、反応解析、ケモインフォマティクスとは何か、それらは実用面においてどのように役立つのかについて解説して頂きました。



特に計算機を用いたシミュレーションによって、化合物の製造効率を改善できること、化合物の性能の違いを分子の挙動の違いとして視覚化(動画化)して解説して頂いたところが印象に残っています。専門的な内容にもかかわらず、初学者である1年生にわかりやすく解説していただきました。化学の分野においても、データサイエンスが重要なツールであることが具体的に理解できる大変に興味深い講義でした。

来週は3つの外部講師の講義が行われます。よろしくお願致します。

6月18日(月曜日) 9・10時限 宇部情報システム 様

6月19日(火曜日) 3・4時限 林兼コンピュータ 様

6月21日(木曜日) 7・8時限 ツールジョ 様